

支援機器相談シート

相談日 2021年 7月 2日

高等部 生徒2

相談内容

●保護者より

コミュニケーションの幅を広げたい。スイッチ遊びが好きなので、楽しみながら練習できるものがないか知りたい。

●担任より補足

立位、独歩が可能。手指の巧緻性も比較的高く、押すタイプやレバータイプなどあらゆるタイプのボタンを使用可能。タブレット端末の画面上のボタンも認識可能。手は両利きでまひはない。

指導者の言葉をまねするような発声をすることがある。簡単なジェスチャーで（ばいばい、お願いなど）やりとりできる。

スイッチを押すことによって何かが起きるというつながりを理解して楽しむことはできるが、それを活用したコミュニケーションや意思表示は段階的に難しいように感じる。認知力の向上に活用できるとよい。

●個別担当者より補足

スイッチを押すことで、音や電気がつくことを好む。

トイレで指導者が、「流して」「ジャーして」と言うと、指示を理解し流水レバーを押すことができる。指示と押すスイッチの区別ができるようになるとよい。

相談結果

① スイッチを取り入れる

- ・教室移動の際に電気のスイッチを押して電気をつけている。それを他者から「ありがとう」と言われる「役割」にすると良い。
- ・「つけること」ではなく、「つけて喜ばれる、褒められる」ことがコミュニケーション力をのばすために大切。
- ・タブレットを活用して【電気をつけて】のシンボルを見せてから、口頭+身体的な誘導で「電気をつけて」の指示をすると良い。
- ・家庭でも、例えばお父さんに「扇風機つけて」と頼み、つけてくれたら喜んで褒めてあげるというコミュニケーションが生まれると良い。



② シンボルを活用する

現在、家庭で入浴後に、身体を拭く前に必ず引き出しからドライヤーを取り出すが、冬は体が冷えないか心配になる。また、「電気を消してから行こうね」と伝え、まだ部屋に人がいても消してしまう。この際、「待ってね」と言っても待ってくれない。

本人が流れを理解しているから待てないのだが、コミュニケーションのため、明確な【待ってね】のルール作りを本人と一緒にできるとよい。そして一つ一つ、「今は良い」「今はまだダメ」をシンボルで伝えていく。例えば、外国語でトイレの男女の表記があるよりも、赤と黒のトイレマークがあると分かりやすいように、「使用中」の札、トイレの鍵の赤色表示など。

1か月ほど続けると積み重ねができてくると思われる。



③ アプリを利用して要求・感情を表せると良い

・家族の一人一人を区別して、抑揚をつけて呼ぶということができている。また、トイレやデザートを「シー」「デザー」と言っで要求を伝えることができている。それを広げていくこととして、困っていることを他の人に伝えられるように「困っています」の合図が出せると良い。「伝えるボタン」というアプリがある。

・例えば「おかわりが欲しい」など、何かの要求を表現する手段として活用してみると良い。

・家族のことは呼び分けることができるので、学校でもタブレットを使い、先生の名前を押して呼ぶことからスタートできると良い。



伝えるボタン (4+)
Masanori Kubota
iPad対応
★★★★★ 3.8・4件の評価
無料

・学校では、教員の身体や腕をトントンと手でたたいて呼ぶことができている。その際に、「どうしたの？」と聞きながらドロップスなどで困った気持ちを見せて、選ばせると良い。この際、機械がしゃべってくれるとよい。VOCAを使うと自分で話さなくなるという誤解が多いが、実は、自分で話すきっかけやイメージをつかむことになるので積極的に使うとよい。(知らない曲を歌うときにははじめは旋律が流れていると歌いやすいのと同じ)

・今、マビーで電車を動かして遊ぶときは、自分から要求するのではなく、教員が電車を見せて遊ぶかどうかを聞いている。はい・いいえの選択ではなく、(シンボルやタブレットなどを利用するなどして) 本人が選択できるようにすると良い。

・快・不快の表現は、他害と自傷、物を投げることで表現しているが、「嫌」のボタンを作ってあげて、スイッチを押すことで周囲に伝えられることに気付けるとよい。不快で落ち着きがなくなってから選択するのは難しくなるので、新しい活動が始める場面で、快・不快のシンボルを提示してから選ばせるようにすると良い。

おすすめVOCAアプリ

◇ 伝えるボタン

- ・青、赤、黄色の3つのボタンのみで、操作が簡単
- ・自由に音声を登録できる。
- ・ボタンの下にメモ欄があり、自由に入力し表示 on/off することができる。

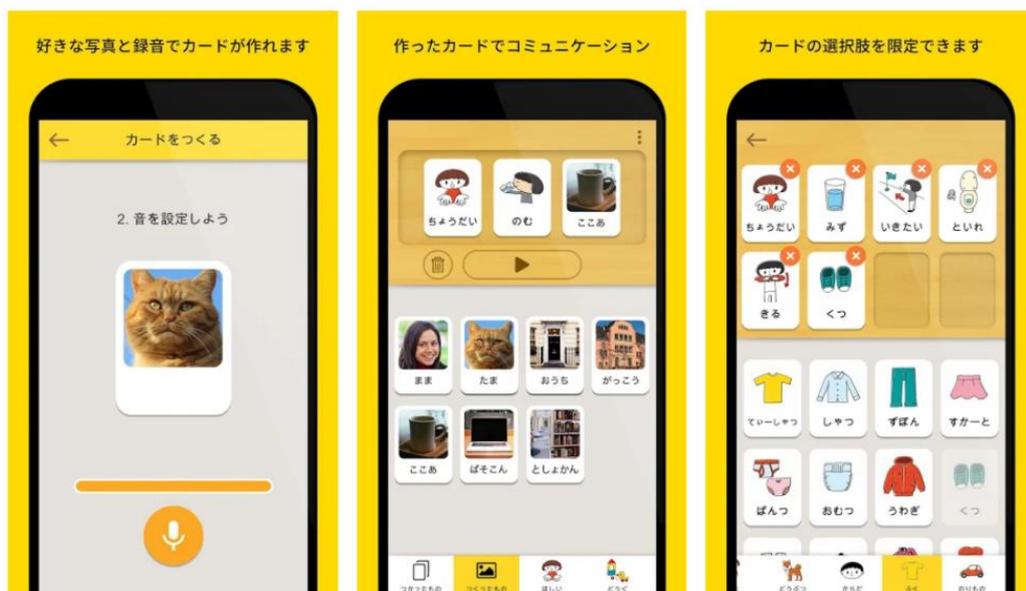




Apple store プレビューより

◇ カードアプリ『えこみゅ』

- ・撮影した画像に、音声を録音し、簡単にカードを作成できる
- ・画面に並べるカードの数を設定できる。
- ・画面のカードは、並べずにスワイプで見ることできる。



Apple store プレビューより